

令和6年度 児童発達支援・放課後等デイサービスの 自己評価の集計結果と改善案

◎実施日：令和6年6月下旬に配布し7月15日に回収。8月上旬に集計・ミーティングを実施

◎公表日：令和6年9月 ◎目的：サービス支援の質の向上

◎公表方法：法人ホームページ、事業所内掲示、広報にてHPのQRコード配布

保護者からの事業所評価集計結果 児童発達支援

集計：令和6年8月

コスモ重心型児童発達支援・

保護者等数（児童数） 1 回収数 1 割合 100 %

放課後等デイサービスアミィ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動などのスペースが十分に確保されているか	1					
	②	職員の配置数は適切であるか				1		
	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1					
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせて空間になっているか	1					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ¹ が作成されているか	1					
	⑥	児童発達支援計画 ² には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	1					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	⑧	活動プログラム ³ が固定化しないよう工夫されているか	1					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				1		今後そのような機会を作っていきたい
	⑩	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらいおよび支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1					

保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング ⁴ 等）が行なわれているか	1					職員がペアレントトレーニングの研修を行い知識をつける必要がある
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1					
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1				ママカフェ等で保護者間の連携を図っている
	⑯	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子供や保護者に周知・説明し苦情があった場合に迅速かつ適正に対応しているか	1					
	⑰	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	1					
	⑱	定期的に会報やホームページなどで、活動内容や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価などの結果を子供や保護者に向けて発信しているか	1					
	⑲	個人情報に十分注意しているか	1					
	非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアルや、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか				1	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				1		規定に基づき実施している 保護者への実施報告をする
満足度	㉒	子どもは通所をたのしみにしているか	1				いつも色々な活動がありありがとうございます	今後も努めて参ります
	㉓	事業所の支援に満足しているか	1				利用者が増えたため今までのように自分の子どもに目が届いているか心配	児童が1人にならないよう、職員間で声を掛け合う等して、支援を実施する

保護者からの事業所評価集計結果 放課後デイサービス

集計：令和6年8月

コスモ重心型児童発達支援・
放課後等デイサービスアミィ

保護者等数（児童数）16 回収数 10 割合 66%

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動などのスペースが十分に確保されているか	10				
	② 職員の配置数は適切であるか	10				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10				
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10				
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	1			
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	3		支援会議等でご家族の意向を聞き取り入れていく
保護 者へ の 説 明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7		2	・特に希望していない	支援会議等でご家族毎の意向を確認し、それぞれの意向を尊重していく
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子供や保護者に周知・説明し苦情があった場合に迅速かつ適正に対応しているか	9				
	⑫ 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	10				
	⑬ 定期的に会報やホームページなどで、活動内容や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価などの結果を子供や保護者に向けて発信しているか	9	1			
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	9	1			
非常 時の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアルや、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10				
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2			
満 意	⑰ 子どもは通所をたのしみしているか	10			・毎日楽しみに通っている	今後も努めて参ります

定 度	⑱	事業所の支援に満足しているか	10		・日々助かっている ・スタッフの対応が明るくて丁寧	今後も努めて参ります
--------	---	----------------	----	--	------------------------------	------------

事業者向け 児童発達支援・放課後デイサービス 自己評価集計

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等	課題や改善すべき点等を踏まえた改善内容や改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	4		・療法士スタッフが時間を調整し配分しているため問題ないと感じる ・訓練スペースがもう少し確保できると共同で訓練が出来るように感じる	不必要なものを処分し、動線とスペースを確保する
	2 職員の配置数は適切であるか	6	6	1	・業務に余裕がないことがあるため、少ないと感じる ・医ケア児の割合が多い時などは看護師スタッフの不足を感じる時がある。 ・職種によっての人数に偏りがあるように感じる。	看護職員を含め、人員を増やし、安全な支援が行えるようにする
	3 事業所の設備等については、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1		・車いす等が通れるように床はフラットである。リフトも完備している。 ・バリアフリートイレの数が1つしかないため、少なく感じる。	可能な限りバリアフリーに努める
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせて空間になっているか	11	2		・重心利用者が主なため、ベッドの確保がなされている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	6	6	1	・事業所としての目標設定がない（年間・月間等）設定した方がいい。	量的・質的の目標設定をし、スタッフ全員が目標に向かって行動できるようにする
	6 保護者等向け評価表を活用する等により保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	4	1	・保護者の意見等があった場合は、ミーティングにて共有し、改善策を話し合う等している。 ・評価表の活用はしていないが家族との連携は取っている ・評価表は活用されていない ・わからない	職員ミーティング等で結果を職員に周知し、必要なことを考える。また、ホームページに掲載されることもスタッフ周知し、改善箇所の意識を高める
	7 この自己評価の結果を、事業所会報やホームページ等で公開しているか	7	5	1	・わからない	ホームページに掲載している職員へ周知する
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13				
9 アセスメントを適切に行ない、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	12	1				

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない（複数） ・サブツールに課題分析シートはあるが、定期的な更新はないため、半年に1度等見直す必要がある ・アセスメントツールがあるか不明 	課題分析ツールを職員に周知・使用し、定期的に見直しを行なう
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラム決定内容に看護師が関わっているか…？保育士、看護師の情報共有が必要 ・チームとして行なうのは困難と感じる。活動プログラムを話し合う機会が必要 	個々の支援計画、プログラムは児発管を中心に、支援会議やミーティングで意見を聴取して作成する。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどを行なっている ・イベントごとに反省会を行ない、次につながっている 	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・長期学校休業の際はプールやお祭りなどイベントを計画している ・事前の課題の設定がない。あった方がいい。 ・きめ細やかに設定できるよう業務内に話し合いを設けるなどの時間が必要。 	個々の能力や課題によって細かく計画を立案する。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	3		<ul style="list-style-type: none"> ・計画書内に左記内容が入ったうえで計画が立てられているか不明 	児童の日々の成長に合わせ計画が立てられるよう見直しを行なう
15	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか(児発)	7	6		<ul style="list-style-type: none"> ・5領域部分においては重症児の場合すべての計画に盛り込むことが困難と感じる。個々に応じて支援できることを選択せざるを得ないと思う。 	個々の能力に応じた計画を立案していく。
16	支援計画に沿った支援が行われているか	11	2			
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	4			
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務終了後の振り返り（申し送り）をやらなくなった。 ・業務後に残業が必要となるが、日頃から残業をする習慣がないため、支援終了後に打ち合わせを行なうのは難しく思う。各業種でのミーティングの機会が必要。 	定期的にはスタッフ間で支援会議を行なう。日々の申し送り等は翌日の朝に行なうようして対応する

	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか	12	1		・記録しているが、振り返っての「検証・改善」につながっているか不明。	全体でガイドラインの研修を行なう
	20	定期的モニタリングを行い、計画書の見直しの必要性を判断しているか	12	1			
	21	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	7		・スタッフのほとんどが総則を把握していないので行なわれているか分からない。	該当する利用者には支援ができていない スタッフへは全体でガイドラインの研修を行なう
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3			
	23	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか(放デイ)	13				
	24	母子保健や、子供子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっているか(児発)	8	5		・わからない(複数)	実施できているが、職員への共有を行なう
	25	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	13			・各訪問看護等と連携し、医師へ連絡する等が出来ている。	
	26	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)などとの間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	8	3	2	・わからない ・移行支援の実績はないが、今後左記のような施設に通っている子供がいたら情報共有体制を構築していく必要がある。	移行時には、各事業所や関係機関と情報共有が出来るよう日頃から連携を図る
	27	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容の相互理解と情報共有を図っているか	11	2		・大まかな普段の支援については送迎時に話を聞くなどしている。 ・移行支援としては実績少ない。 ・学校でどのような授業を受け、どのような活動をしているかが不明。	移行時には、各事業所や関係機関と情報共有が出来るよう日頃から連携を図る 学校見学に参加する
	29	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	7	2	・個別で研修は受けたことはあるが、施設全体で受けている(受けたことがある)かは不明。今後定期的にそのような機会を作るのが望ましい。	研修を受けているスタッフより他スタッフ全体へ研修内容の周知や伝達を行なう
	30	外部の施設との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	5	・外出レクリエーションで買い物等他者(社会)との関わりを持つ機会はあるが、他施設等の子供と関わる機会がない。 ・他のデイサービスに行く機会が必要。	機会を設けるよう努める
	31	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	4	3		所長等参加できているが、職員への情報共有を行なう
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13				

	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	6	4	・ママカフェは過去行なっている ・ペアレントトレーニングの知識をスタッフが学ぶ必要がある。	職員がペアレントトレーニングの研修を行い知識をつける必要がある
保護者 絵の 説明 責任 等	34	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13				
	35	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13				
	36	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13				
	37	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1			
	38	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	11	2			
	39	個人情報に十分注意しているか	13				
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	2			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか	6	2	5		今後、地域住民が参加できるようなイベントを検討・計画していく
非常時 の 対応	42	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	2		・保護者に内容周知しているか不明	家庭用を作成し、配布している
	43	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	1			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	13				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13				
	46	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	12	1		・前例がないため対応していない。マニュアルなどもあるか不明	アレルギーの有無については利用前に聴取を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13				
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	2	2	・インシデントは行なっているが、ヒヤリハットは出していない。 ・こまかなインシデント・ヒヤリハットの記録や共有があまりなされていない	インシデントとは別にヒヤリハットの報告を行なう ミーティングにてヒヤリハットの共有を行なう